



青島の風

青島日本人学校だより
平成29年8月15日
校長 金森 孝子

晩夏の候、80名で二学期がスタートしました

青島日本人学校の前庭に蜻蛉の舞う頃、明るい子どもたちの歓声が戻ってきました。夏の終わりのそこはかたない寂しさを払拭するような元気な挨拶、少したくましさを増した笑顔と表情、スクールバスから降りてきた大勢の子どもたちの姿は、学校全体を元気づけてくれます。平成29年度二学期は、転入生8名を加え、小学部70名、中学部10名、合わせて80名の嬉しいスタートとなりました。



始業式後、小学部では、7名の転入生も加わり、「『時』を守り『場』を清め『令』を正す」ことの確認、中学部では、2年生1名の転入生に向けて、相手の気持ちを想像ながら一人一人が歓迎のメッセージを送りました。一学期の終わり、クラスや学部を越えて友達との別れを惜しんだ子どもたちが、新たな友と出会い、これから、新たななかかわりを作っていきます。「別れ」と「出会い」

は、大きく感情に働きかけ、子どもを成長させる大切な機会ととらえています。学校として、一人一人に寄り添いながら、心の成長を見守り支えていきたいと思えます。また、二学期は、途中、中秋節や国慶節のお休みを挟みますが、運動会、学習発表会等の大きな学校行事があり、子どもたちの活躍が期待される楽しい学期です。二学期前半、後半の区切りを効果的に使いながら、「ち（知恵）・ん（感動・感性）・た（たくましさ）・お（思いやり）」の視点で、子ども自らがメタ認知できるよう、ご家庭でもご協力のほど、よろしく願いいたします。



【qing ting】

夏休み学校開放

担当：西村拓也

本校では、規則正しいリズム作り、一学期の学習内容補充や復習、水泳指導による泳力向上などを目的として、夏季休業中、初めと終わりの4日間ずつ計8日間の学校開放を行っています。今年も夏休みにもかかわらず、毎回たくさんのお子さんが参加しました。

小学部はまず図書室で、夏休みの課題に取り組んだり、図書室の本を読んだりして自主学習に取り組みました。その後、水泳練習を行いました。児童の泳力ごとに4つのクラスに分かれ、それぞれがめあてを持って練習に取り組みました。中学部では、生徒によって各教科の講座を受講したり、自習や水泳練習に取り組んだり、それぞれが自分に合った学習計画を立てて取り組みました。

水泳の泳力向上ができた、夏休みの課題をたくさん進めることができた、図書室でたくさん読書ができた、畑にできたトマトを収穫して美味しく味わったなどなど、多くの感想が聞かれました。参加した児童生徒は、それぞれより充実した夏休みを過ごすことができたようです。



